

令和7年度 山陽小野田市国民健康保険保健事業の実施計画

資料5

事業名	事業の目的	対象者	事業の内容	評価指標				備考
				項目	R6目標	R6実績見込	R7目標	
1 特定健診受診率向上事業	生活習慣病を起因とする重症化疾患の割合が高いことから、特定健康診査を積極的に受診し、早期発見、重症化予防につなげる。	・40～74歳の被保険者 ・18～39歳の被保険者 (若者健診対象者)	・特定健診未受診者へ対象者の特性に応じた受診勧奨の実施。 ・休日・夜間等受診しやすい環境を整備する。 ・若者層からの健診を促し、40歳以降の特定健診へ繋げる。	特定健診受診率	40.0%	41.2%	42.0%	
2 特定保健指導実施率向上事業 (保健指導・利用勧奨)	生活習慣病の発症リスクの高い方に、自分自身で自分の健康を管理できるよう保健指導を実施し、発症リスクの低減を目指す。	特定保健指導対象者 (基準値を超えた者)	・特定健診の結果、検査値に異常がある者に、「特定保健指導」を促す。 ・特定健診の結果、検査値に異常がある者に、「特定保健指導」を実施。	特定保健指導実施率	10.0%	10.2%	15.0%	
3 糖尿病性腎症重症化予防事業 (保健指導・受診勧奨)	糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者・受診中断者を医療に結びつけるとともに、糖尿病性腎症で通院する患者のうち、重症化するリスクの高い者に対して生活指導を行い、人工透析への移行を防止または延伸させる。	県が策定したプログラムに基づき抽出した糖尿病性腎症の高リスク被保険者	・糖尿病の治療が必要な未受診者・受診中断者に対して受診勧奨を実施。 ・糖尿病性腎症の高リスク被保険者の対象者への保健指導を行う。	保健指導参加人数	15人	10人	15人	
4 【新規】 慢性腎臓病（CKD）受診勧奨事業	慢性腎臓病（CKD）における早期受診を促すことで、非透析寿命の延伸を図る。	前年度の特定健康診査の結果、抽出基準に該当した者	・抽出した対象者へCKDについての説明及び早期の受診や高血圧に対する管理の必要性を記載したリーフレット等を個別通知する。	勧奨後の受診率	—	—	55.0%	
5 脳ドック推進事業	脳疾患の早期発見	30～74歳の被保険者	・脳ドックを受診する際の費用を助成。 (自己負担額：4,000円)	実施率	100%	66.1%	100%	
6 減塩対策事業	高血圧の要因となる塩分に着目し、減塩活動を実施し、疾病予防に努める。	市民・被保険者	・減塩に関する啓蒙実施。	情報発信回数	1回	1回	2回	
7 ロコモティブシンドローム重症化予防 (骨粗しょう症対策)	フレイル予防の為、動ける身体・筋肉量の維持の他骨密度の低下を防ぐ。	市民・被保険者	・骨密度の測定機会を増やし、健康意識向上へのきっかけづくりとし、食生活改善や運動増加などを促す。併せて、骨折や関節症など重症化を抑制する。	骨密度測定人数	100人	71人	120人	2月・3月に測定実施予定あり。
8 健康運動事業	生活習慣病予防の一環として、運動習慣を身に着ける。	30～74歳の被保険者	・委託事業者による運動教室の実施	参加人数	60人	73人	160人	データヘルス計画上R7目標は60人だが、R6の実績を鑑み上方修正。
9 歯周病検診事業	歯周病予防	20～74歳の被保険者 ※令和7年度から対象年齢拡大	・歯科医院（歯科医師会所属）で検査を実施	受診率	前年度以上 (前年度1.5%)	1.7%	前年度以上	
10 ジェネリック医薬品推進事業	ジェネリック医薬品について、意識啓発と利用率向上を図る。	被保険者	・被保険者に対し先発薬との差額通知書を送付	ジェネリック医薬品利用率	85.0%	86.1%	87.0%	